

製品名: CD298 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08330**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	31kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP1B3
別名	ATP1B3; Sodium/potassium-transporting ATPase subunit beta-3; Sodium/potassium-dependent ATPase subunit beta-3; ATPB-3; CD antigen CD298
遺伝子 ID	483.0
SwissProt ID	P54709
免疫原	ヒト N 末端 CD298 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 60-140

背景

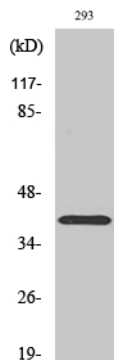
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Na⁺/K⁺および H⁺/K⁺ ATPase の β 鎖タンパク質ファミリー、および Na⁺/K⁺ -

ATPaseのサブファミリーに属します。Na⁺/K⁺-ATPaseは、細胞膜を横切るNaおよびKイオンの電気化学的勾配を確立および維持する役割を担う膜タンパク質です。これらの勾配は、浸透圧調節、さまざまな有機および無機分子のナトリウム結合輸送、神経および筋肉の電気的興奮性に不可欠です。この酵素は、大きな触媒サブユニット（アルファ）と小さな糖タンパク質サブユニット（ベータ）の2つのサブユニットで構成されています。ベータサブユニットは、アルファ/ベータヘテロダイマーの組み立てを介して、細胞膜に輸送されるナトリウムポンプの数を調節します。Na⁺/K⁺-ATPaseの糖タンパク質サブユニットは、複数の遺伝子によってコードされています。この遺伝子はベータ3サブユニットをコードします。この遺伝子はβ3サブユニットの機能をコードする：これは活性酵素の非触媒的構成要素であり、ATPの加水分解と、細胞膜を介したNa(+)およびK(+)イオンの交換を触媒する。β3サブユニットの正確な機能は不明である。類似性：X(+)/カリウムATPaseサブユニットβファミリーに属する。細胞内局在：ステージIからステージIVまでのメラノソーム分画において質量分析法によって同定された。サブユニット：α（触媒）、β、γの3つのサブユニットから構成される。

研究分野

心筋収縮、アルドステロンによるナトリウム再吸収

画像データ



CD298 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。